公益社団法人日本臨床矯正歯科医会

矯正歯科専任スタッフキャリアアップ支援制度

Staff Career Advancement Program（SCAP）

【歯科技工士業務】

院内研修達成評価ガイドライン

2026 年

SCAP における歯科技工士業務について

SCAP は矯正歯科専任のすべての職種へのキャリアアップ支援を目的としています。

矯正歯科治療は、他の歯科領域とは異なる高い専門性があり、また、自由診療が中心となっていることから、歯科技工士にも、高度な技術と共に先進的な知識が要求されます。

そのような観点からこのガイドラインは纏められていますので、会員診療所で十分に活用していただければ幸いです。

歯科技工士の業務範囲について

歯科技工士法（昭和 30 年法律第 168 号）第 2 条の規定により、歯科技工士は、歯科医師の指示書に基づき、特定人に対する歯科医療の用に供する補綴物・充填物・矯正装置の製作、修理、加工を業とする。

矯正歯科分野においては、特に次の点に留意が必要です。

(1) 患者の口腔内に器具を挿入する行為は禁止されている（歯科医師・歯科衛生士の業務範囲）。
(2) 歯科医師の指示書なしに技工物を製作することはできない。
(3) 製作した技工物の患者への試適・装着は、歯科医師（又は歯科医師の指示の下で歯科衛生士）が行う。
(4) チェアサイドで技工物の調整を行う場合も、患者の口腔内には触れず、口腔外で行う。

Ⅰ．技工の基礎

Ⅰ-1．石膏

概論

・歯及び口腔内の解剖学的形態、構造に関する基礎知識を有している。

・石膏に関する基礎知識を有している。

・矯正歯科治療において、石膏を使用する場面を説明できる。

・石膏練和等に用いる器具を説明できる。

各論

①石膏の種類（難易度　A）

・目的によって使用する石膏の種類を説明できる。

②石膏練和の手順（難易度　A）

・石膏練和に使用する器具を的確に準備することができる。

・石膏練和時の的確な混水比等を説明できる。

・石膏練和の手順を説明できる。

③石膏硬化後のチェック項目（難易度　A）

・硬化した模型の使用目的を理解しエラー項目を説明できる。

Ⅰ-2．ワイヤー

概論

・ワイヤーに関する基礎知識を有している。

・矯正歯科治療において、ワイヤーを使用する場面を説明できる。

・ワイヤー屈曲等に用いる器具を説明できる。

・ワイヤー屈曲後の屈曲のばらつきや微細な不適合を見抜く高度な目視判定ができる。

各論

①ワイヤーの種類（難易度　A）

・目的によって使用するワイヤーの種類（サイズ、形状、太さ等）を説明できる。

②ワイヤー屈曲の手順（難易度　A）

・ワイヤー屈曲の手順を説明できる。

・ワイヤー屈曲に使用する器具を的確に準備することができる。

・ワイヤー屈曲時の的確な要点（接触すべき点、接触すべきではない点）等を説明できる。
・ワイヤーに傷を付けずに屈曲ができる。

③ワイヤー屈曲後のチェック項目（難易度　B）
・屈曲したワイヤーの使用目的を理解しエラー項目を説明できる。

Ⅰ-3. 鑞着

概論
・鑞着に関する基礎知識を有している。
・矯正歯科治療において、鑞着を使用する場面を説明できる。
・鑞着に用いる器具を説明できる。

各論

①鑞着の手順（難易度　A）
・鑞着に使用する器具を的確に準備することができる。
・鑞着時の手順を説明できる。

②鑞着後のチェック項目（難易度　A）
・鑞着後のエラー項目を説明できる。

Ⅰ-4. 即時重合レジン

概論
・即時重合レジンに関する基礎知識を有している。
・矯正歯科治療において、即時重合レジンを使用する場面を説明できる。
・即時重合レジンに用いる器具を説明できる。

各論

①即時重合レジンの種類（難易度　A）
・目的によって使用する即時重合レジンの種類を説明できる。

②即時重合レジンの手順（難易度　A）
・即時重合レジンに使用する器具を的確に準備することができる。
・即時重合レジンの手順を説明できる。
・気泡を入れずにレジン重合ができる。

③重合後のチェック項目（難易度　A）

・重合した即時重合レジンの使用目的を理解し、エラー項目を説明できる。

Ⅱ．実際の技工物

概論

・矯正歯科治療において用いられる主な技工物の種類と用途を説明できる。

・各技工物の作成に必要な基本技術（Ⅰ章で学んだ石膏・ワイヤー・鑞着・レジン）を組み合わせて、目的に応じた技工物を完成できる。

Ⅱ-1．石膏系（ワックス系）

①平行模型（難易度　B）

・一連の平行模型作成手順を説明できる。

・上下顎の基底面を平行に作成できる。

・咬合平面を基底面と平行に作成できる。

・外形を的確にトリミングできる。

・気泡を入れずに作成することができる。

・辺縁と移行部の形態をスムーズに仕上げることができる。

・仕上がった平行模型の使用目的を理解しエラー項目を説明できる。

②セットアップモデル（難易度　C）

・一連のセットアップモデル作成手順を説明できる。

・印象材（シリコーンもしくはアルジネート）を用いて再現性のある副模型を作成することができる。

・的確に歯軸を記入することができる。

・指示書等に従い的確に歯の配列ができる。

・ワックスで固定し綺麗に仕上げることができる。

・仕上がったセットアップモデルの使用目的を理解しエラー項目を説明できる。

Ⅱ-2．ワイヤー系

①リンガルアーチ（W-type 拡大装置）（難易度　B）

・一連のリンガルアーチ作成手順を説明できる。

・0.7mm、0.8mm、0.9mm 線を外形線に沿った屈曲ができる。

・ST ロック等の屈曲ができる。

・ヘリカル部分を綺麗に屈曲できる。
・バンドとの鑞着も含め部位、大きさを的確に作成できる。
・仕上がったリンガルアーチの使用目的を理解しエラー項目を説明できる。

②Rapid Expansion（急速拡大装置）（難易度　B）

・一連の Rapid Expansion 作成手順を説明できる。
・1.2mm 線を外形線に沿った屈曲ができる。
・鑞着部の部位、大きさを的確に作成できる。
・仕上がった Rapid Expansion の使用目的を理解しエラー項目を説明できる。

Ⅱ-3. ワイヤー＋レジン系

①リテーナー（Hawley type／Begg type）（難易度　B）

・一連のリテーナー作成手順を説明できる。
・0.8mm 又は 0.9mm 線を外形線に沿った屈曲ができる。
・気泡を入れずにレジン重合が出来ている。
・適切なレジンの厚みで仕上げることができる。
・仕上がったリテーナーの使用目的を理解しエラー項目を説明できる。

②バイオネーター（又は F.K.O.）（難易度　C）

・一連のバイオネーター作成手順を説明できる。
・0.9mm 線を外形線に沿った屈曲ができる。
・気泡を入れずにレジン重合が出来ている。
・適切なレジンの厚みで仕上げることができる。
・仕上がったバイオネーターの使用目的を理解しエラー項目を説明できる。

Ⅲ. 本会主催スタッフ・プログラム及び推奨研修会への参加

概論

・本会の主催するスタッフ・プログラムの内容と種類を把握し、参加の意義について理解する。

（参加要件）

本項目は必須要件である。獲得ポイント数の目安は次のとおりである。

・1 講演＝1 ポイント
・大会全プログラム参加＝3 ポイント、例会全プログラム参加＝2 ポイント
・レベルⅡ：10 ポイント／レベルⅢ：20 ポイント／レベルⅣ：35 ポイント